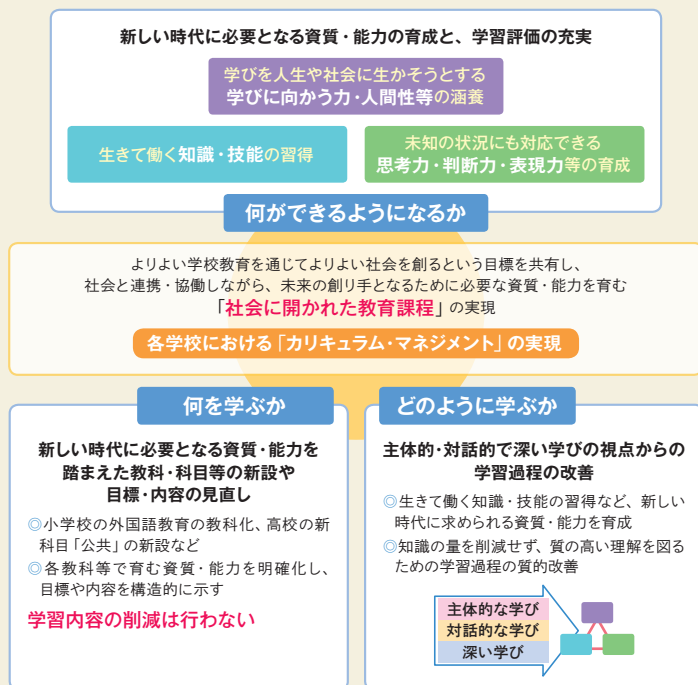


図1 「社会に開かれた教育課程」とは

- 1 社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を持ち、教育課程を介してその目標を社会と共有していくこと。
- 2 これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり合い、自分の人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育んでいくこと。
- 3 教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること。

※中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」を基に編集部で作成。

図2 学習指導要領改訂の方向性



※中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」を基に編集部で作成。

新教育課程の編成に向け、 新学習指導要領の要点を改めて押さえる

2022年度入学生の新教育課程の編成にあたっては、その前提となる新学習指導要領のポイントを押さえておくことが重要だ。ここでは、「社会に開かれた教育課程」「育成を目指す資質・能力」、教科・科目等及び標準単位数の変更点について見ていく。

新学習指導要領では、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、両者が連携・協働して子どもたちに必要な資質・能力を育むことを目指す「社会に開かれた教育課程」（図1）が、理念として掲げられた。

その実現に向けた枠組みを示すため、教育課程の基本事項を示す「総則」を抜本的に見直し、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」など、教育課程の編成に必要な事項を整理して提示。また、「何ができるようになるか」という点では、各教科等の学習を通して育まれる資質・能力や、

図3 高校の各学科に共通する各教科・科目および総合的な探究の時間並びに標準単位数

教科	科目	標準単位数	必修修科目	教科	科目	標準単位数	必修修科目
国語	現代の国語	2	○	保健 体育	体育	7~8	○
	言語文化	2	○		保健	2	○
	論理国語	4		芸術	音楽Ⅰ	2	}
	文学国語	4			音楽Ⅱ	2	
	国語表現	4			音楽Ⅲ	2	
	古典探究	4			美術Ⅰ	2	
			美術Ⅱ		2		
			美術Ⅲ		2		
			工芸Ⅰ		2		
			工芸Ⅱ		2		
			工芸Ⅲ		2		
			書道Ⅰ		2		
地理 歴史	地理総合	2	○	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	○2単位まで減可
	地理探究	3			英語コミュニケーションⅡ	4	
	歴史総合	2	○		英語コミュニケーションⅢ	4	
	日本史探究	3			論理・表現Ⅰ	2	
	世界史探究	3			論理・表現Ⅱ	2	
			論理・表現Ⅲ		2		
公民	公共	2	○	家庭	家庭基礎	2	}
	倫理	2			家庭総合	4	
	政治・経済	2		情報	情報Ⅰ	2	○
			情報Ⅱ		2		
数学	数学Ⅰ	3	○2単位まで減可	理数	理数探究基礎	1	
	数学Ⅱ	4			理数探究	2~5	
	数学Ⅲ	3			総合的な探究の時間	3~6	○2単位まで減可
	数学A	2					
	数学B	2					
	数学C	2					
理科	科学と人間生活	2	「科学と人間生活」を含む2科目または基礎を付した科目を3科目				
	物理基礎	2					
	物理	4					
	化学基礎	2					
	化学	4					
	生物基礎	2					
	生物	4					
	地学基礎	2					
地学	4						

注) 赤い下線は、科目構成に変更があるもの。編集部による加筆。
 ※文部科学省「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総則編」を基に編集部で作成。

図4 新学習指導要領に対応した大学入試の初実施(2025年度入試)までのスケジュール

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
中学校新教育課程	高校新教育課程→		
高3	高3	高3	高3
高2	高2	高2	高2
高1	高1	高1	高1
[5~6月]・検定済み教科書見本公開 [6~7月]・教科書採択 [夏ごろ]・新学習指導要領に対応した大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告 [10月]・指導書	・新教育課程開始 ・指導要録の改善 ・各大学の選抜予告発表		[夏ごろ]・2025年度大学入学者選抜実施要項発表 [年度末]・2025年度大学入試実施

■ 現行教育課程生
■ 新教育課程生

※ベネッセ文教総研作成。

学習の基盤となる資質・能力など、あらゆる資質・能力に共通する要素が、育成を目指す資質・能力の3つの柱として整理された(図2)。

高校の新教育課程において、卒業までに履修させる単位数は、現行の教育課程と同じ74単位以上。教科・科目の構成は、社会で生きていくために必要な力を共通して身につける「共通性の確保」と、学校の創意工夫を生かすための裁量や生徒の選択の幅としての「多様性への対応」を軸に見直され、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「外国語」「家庭」「情報」「理数」「総合的な探究の時間」について、変更や新設があった(図3)。

以上が、新教育課程の編成の前提となる。

なお、新学習指導要領に対応した大学入試は、2025年度入試が最初となる(図4)。その実施に向けて、21年夏ごろには、新学習指導要領に対応した実施要項の見直しに係る予告が発表される。22年度には各大学の選抜予告が、24年度には25年度大学入学者選抜実施要項が発表される予定だ。